

特集

あっちこっちにウレシイが続々

合言葉は

ボランティア

ボランティアをしている人、受ける人、双方をつないだ人、みんなを感じるウレシイという気持ち。今号は、ボランティアをしている区民のかた、ボランティアを受け入れている施設の職員、ボランティアを支援している職員、それぞれから「ウレシイ」の詰まったボランティアへの気持ちを伺い、助け合いの輪がいかになつながら、広がっていくかをご紹介します。

図めぐるボランティア・区民活動センター
(☎3714-2534、☎3714-2530)

ボランティアは

いろいろな出会いがある

ボランティアは、多くの人と接し、助け合いながら活動します。困っている人の視点に立ったり、話し合ったりすることで、社会のさまざまな課題の解決に取り組めます。



自分かやってみたいやできることを
ボランティアの語源は、自分の意思で行動するという意味のラテン語の voluntas (ボランタス)。強制や義務で行うものではなく、自分のやりたいという意思で行う活動です。

無理はしない

最初からたくさんのをしようとせず、できることから始めましょう。体調などを考慮し、無理をしないことが、活動を続けることにつながります。



活動をしている区民のかたに聞きました
やってウレシイ

ボラ歴
10年目黒サンクチュアリーズ
鈴木義正さん

楽しいことをして社会のために役に立てるなんて素晴らしいことです

ボランティア活動を始めたのは、10年ほど前に知人から勧められたことがきっかけです。当時もう80代半ばでしたし、一度は断ったんです。でも、何度も誘われるうち、元々理科の教師で植物や環境保全について知識があり、少しは役に立てるかもしれないと思い、参加することにしました。始めてみると、毎週の作業が楽しくてもっと早くからやればよかったと思いました。日々の積み重ねが少しずつ形になっていくのはやっぱりうれしいですね。

楽しいことをして社会のために役に立てるなんて素晴らしいことだと思います。私にとって生きがいです。一人一人の力は小さいかもしれませんが、みんなで集まるとやっぱり大きな力になるんですね。ボランティアはとっつきにくいと思うかもしれませんが、やってみたら何てことない。区民の皆さんも、とにかく何でもいいからやってみてほしいなと思います。

目黒サンクチュアリーズ

東山公園拡張部にあるビオトープを拠点に、池の手入れや腐葉土づくり、巣箱の設置など生物多様性に配慮した環境づくりを行っています。活動日は毎月第1・3土曜日の午前中。活動の様子は同団体のInstagram(コード①)をご覧ください。



子育てサロンサリュ!

自宅の一室を子育てママの安心できる居場所にしたいという思いから、区内の仲間と活動を開始。2歳までの子どもと保護者が対象。東山住区センターで、毎月第4木曜日に、テーマを決めてリトミックやワークショップを開催しています。開催情報など詳細は、同団体(コード②)をご覧ください。



お客さんとして参加するというボランティアのカタチもあると思います

子育てサロンを始めたきっかけは、友人から誘われた子育て支援サイトの立ち上げの際に、ママたちが子どもと一緒にいる場所がないと困っているのを知ったことからです。親子が安心して楽しめる時間と場所を作りたいという気持ちからでした。活動を始めて11年になりますが、参加してくださるパパ・ママや子どもたちとのふれあいの中で、毎回うれしいことがあるので続いています。

ボランティアって手伝うことだと思っていらっしゃるかもしれませんが、お客さんとして参加するというボランティアのカタチもあると思うんです。まずは参加してみる。それがその団体を支えるという意味で次につながると思います。参加してみて、自分も運営側に回ってみたいと思ったら次のステップに進めばいいですし。まずは気になった活動に参加してみるから始めてみてほしいですね。

ボラ歴
11年子育てサロンサリュ! 代表
山神祥子さん

ウレシイを体験しよう!

夏体験ボランティア

子どもたちに、夏休みにボランティアの体験をしてもらう企画です。事前説明会への参加が必要です。

小・中学生コース

期①7月27日(土)、8月2日(金)・3日(土)のいずれか1日
②7月20日(土)～8月24日(土)のうち2～3日間
内容①福祉体験学習(車いす・高齢者疑似、点字、手話から選択)
②福祉施設、ボランティアグループなどで活動
定50人(先着。小学1～3年生は保護者同伴) 費保険料350円
《説明会日時》 7月6日(土)14:30～15:30または7月10日(水)16:30～17:30

高校・大学生(専門学校生)コース

期7月20日(土)～8月24日(土)のうち2～6日間
内容福祉施設、保育園・児童館、ボランティアグループなどで活動
定100人(先着) 費保険料350円
《説明会日時》 7月6日(土)16:00～17:00または7月10日(水)18:00～19:00

申込用紙(めぐるボランティア・区民活動センター、住区センターなどで配布。同センター(コード③)から印刷可)を、郵送・FAX・Eメールで、6月21日(必着)までに、申込先へ。窓口申し込み可(休館日は下記参照)



受け入れている施設の職員に聞きました

ウレシイ

特別養護老人ホーム
こぶしえん
鈴木淳さん

入所者にとって、ボランティアは地域とつながる大切な存在です

ボランティアは、新型コロナウイルスが5類に移行後、ここ1年ほどで本格的に受け入れられるようになりました。食事介助や館内清掃、レクリエーションのお手伝いなど、さまざまな面で力をお借りしています。入所されているかたにとっては、ボランティアは地域とつながる大切な存在でもあると思っています。

また、めぐるボランティア・区民活動センターには落語や南京玉すだれなど、いろいろな一芸を持つかたが特技ボランティアとして登録されています。毎週金曜日に、地域の皆さんと一緒に食事をする会食サービスを提供していますが、会食の後に余興を楽しむ時間を設け、ボランティアに活動をお願いしたいと考えていて、夏ごろを目指して計画しています。

こぶしえんで活動するボランティア



特別養護老人ホームこぶしえんで、デイサービスなどのボランティアを行っています。レクリエーションの企画や提案など、いつも利用者が楽しめるように考え、活動しています。

活動を支援する職員に聞きました

ウレシイを

誰かのウレシイにつながったら、自分もうれしくなれる。それがボランティアの魅力です

私たちは、ボランティアをしたいかたと、必要とされている施設や団体とをつなげています。他にも、ボランティア参加へのきっかけを作る講座や福祉体験学習、地域活動団体の支援なども行っています。

ボランティアの魅力は、活動を通じていろいろな人との出会いや経験をすることができ、そこから視野が広がって新しい自分の発見につながるのだと思います。本当に皆さん、楽しいと言って活動されていて、その笑顔に私たち職員も元気をいただいています。まずは自分の好きなこと、興味があることから始めてみてください。それが誰かのウレシイにつながったら、自分もうれしくなれますよ。

やってみようと
思ったら

めぐるボランティア・区民活動センター



場中目黒2-10-13 中目黒スクエア内
期8:30～19:00
(日・月曜日、祝・休日、毎月第2木曜日は休館) ④

ボランティアをしてみたい、団体を立ち上げたいなどのボランティアや地域活動に関する相談、紹介等のほか、講座や研修等も行っています(コード④)。



広報紙「ボランティアめぐる」

区内のNPO法人やボランティアグループなど、地域活動の情報が詰まった広報紙です。住区センター、目黒区社会福祉協議会などで配布するほか、同センター(コード④)でご覧になれます。

めぐるボランティア情報検索サイト

区内のボランティア活動を分野・地区・頻度・曜日の4項目から探せます(コード⑤)。

